



寺迫観音堂の隣にある軸丸さんの実家に集まって、観音祭りを楽しむ地区の皆さん

ら『おかんのんさん』に見守られて育ちました。私にとって観音堂は身近で、かけがえのないものです」と軸丸さんは話します。

祭りに参加した人の中に、2年前の「わがまち散歩・木山編」で、「グラウンドゴルフ帰りの勇ましい姿が『Gメン75』のようだ」とご紹介した、松本正さんと高宮千恵子さんの顔もありました。「久しぶりなあ。あとも元気そうで何より」と松本さんに優しい言葉を掛けていただき、少しも変わらな

いお元気な姿にうれしさがこみ上げてきました。

「昔に比べると祭りに参加する人も少なくなってきましたが、こうして地域の行事を大切にしているを若い人たちにも伝えていきたいですね」と寺迫区長の本田光昭さんは言います。皆さんからおいしい豚汁もごちそうになりました。初夏といえども肌寒い雨の日の心と体に染み渡りました。ごちそうさまでした。



「小さい頃から、おかんのんさんのお世話をしています」と話す軸丸さん



寺迫観音堂

高台にある第十六番札所の皆さんにごちそうになった豚汁のおいしかったこと



フワフワのソフトクリーム 手焼きのワッフルコーン



「益城ソフト」のオーナーの渡辺さん



口に含んだ瞬間、ミルクの風味が広がるソフトクリーム

季節限定のソフトクリームやパフェを提供する「益城ソフト」



「第十六番札所 寺迫観音堂」の近くに、2つのグルメスポットが誕生しました。今年3月4日にオープンしたのが「益城ソフト」です。ミルクの豊かな風味と、なめらかな食感のソフトクリームが評判を呼び、次から次と客足が絶えません。

オーナーは若さはじける渡辺紗也さんです。2年前に合志市に「熊本ミルク」の看板を上げ、益城ソフトは2号店。渡辺さんは高校時代から将来起業するべく資金をためて、夢を叶えました。全国のソフトクリームはもちろん、海外にも出かけて食べ歩きをしながら研究を重ねたそうです。「コロナ禍の不安な最中に1号店をオープンしましたが、おかげさまで多くのお客さまに喜んで召し上がっていただいています」とチャーミングにほほえみます。

「レシピは全てオリジナルです。当店のソフトクリームの特徴は、空気をいっぱい含ませた舌触りのいいフワフワ感にあります」と話す渡辺さんのこだわりは、手作りのワッフルコーンにも及びます。ワッフルコーンに忍ばせたザラメの食感がアクセントになっており、毎朝、一枚一枚手焼きするそうです。「毎朝焼いて、作り置きはしません。週末はワッフルコーンがあつという間に完売することもあります」とうれし悲鳴を聞かせてくれました。